



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス

コード番号 2754 URL http://www.tkhd.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,401	△26.3	42	△56.4	47	△53.6	29	△54.2
2020年3月期第1四半期	1,901	10.7	98	13.6	102	13.7	65	13.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 29百万円 (△54.2%) 2020年3月期第1四半期 65百万円 (13.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	6.16	5.95
2020年3月期第1四半期	13.46	13.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,268	4,392	69.5
2020年3月期	6,354	4,411	68.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,354百万円 2020年3月期 4,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	0.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年3月期配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長期化しており、現時点において合理的な算出が困難なことから引き続き未定とさせていただきます。今後、配当予想の算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長期化しており、現時点において適正かつ合理的な算出が困難なことから引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	4,840,000株	2020年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,701株	2020年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	4,838,299株	2020年3月期1Q	4,838,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する目的から緊急事態宣言が発出され、5月下旬に宣言が完全に解除されるまでの間、経済活動が停滞したことから、さまざまな分野においてこれまでにない大きな影響を与えた状況で推移をいたしました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、登録車（普通自動車）、届出車（軽自動車）ともに、緊急事態宣言が発出された影響等により、当第1四半期連結累計期間の国内新車販売台数は836,050台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比31.8%減）と前年同四半期に比べて大幅に減少しました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

自動車販売につきましては、緊急事態宣言の発出により、店舗の営業時間の短縮、宣伝広告の自粛等、特に車両の販売活動において大きな制約を受けることとなりました。新車の販売台数は381台（前年同四半期比32.4%減）、中古車の販売台数は311台（前年同四半期比24.0%減。内訳：小売台数149台（前年同四半期比19.9%減）、卸売台数162台（前年同四半期比27.4%減））と大幅に減少しました。販売台数の減少により登録受取手数料等の手数料収入はもとより、整備業務を行うサービス売上についても上記の影響により整備台数が減少したことから売上高は1,377百万円（前年同四半期比26.6%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、緊急事態宣言の発出により、店舗が出店しているテナントの営業時間の短縮及び密閉、密集、密接を避ける目的での来店人数の制限、宣伝広告の自粛等により保険契約件数が減少したこと等から売上高は23百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は1,401百万円（前年同四半期比26.3%減）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は42百万円（前年同四半期比56.4%減）、経常利益は47百万円（前年同四半期比53.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円（前年同四半期比54.2%減）となりました。これは、主に中核事業である自動車販売関連事業の売上高が、前年同四半期に比べて大幅に減少したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は2,883百万円となり、前連結会計年度末に比べて62百万円減少いたしました。これは商品及び製品が30百万円増加、現金及び預金が46百万円、受取手形及び売掛金が40百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は3,385百万円となり、前連結会計年度末に比べて23百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が25百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は6,268百万円となり、前連結会計年度末に比べて86百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は1,624百万円となり、前連結会計年度末に比べて72百万円減少いたしました。これは短期借入金32百万円、賞与引当金が22百万円それぞれ増加、買掛金が66百万円、未払法人税等が41百万円、その他の流動負債が19百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は251百万円となり前連結会計年度末に比べて4百万円増加いたしました。これはその他の固定負債が4百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は1,875百万円となり、前連結会計年度末に比べて67百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は4,392百万円となり、前連結会計年度末に比べて18百万円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益29百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は69.5%（前連結会計年度末は68.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し、当四半期連結会計期間末には1,353百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は28百万円(前年同四半期は41百万円の獲得)となりました。これは税金等調整前四半期純利益47百万円から主に減価償却費27百万円、賞与引当金の増加額22百万円、売上債権の減少額28百万円、たな卸資産の増加額31百万円、仕入債務の減少額66百万円及び法人税等の支払額58百万円等を調整したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は2百万円(前年同四半期は138百万円の使用)となりました。これは主に貸付金の回収による収入2百万円、差入保証金の差入による支出5百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は15百万円(前年同四半期は174百万円の使用)となりました。これは借入金による収入32百万円、配当金の支払額48百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が長期化しており、現時点において適正かつ合理的な算出が困難なことから引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,400,637	1,353,766
受取手形及び売掛金	970,831	930,229
商品及び製品	454,756	485,392
その他	119,496	113,816
流動資産合計	2,945,721	2,883,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	448,276	439,896
機械装置及び運搬具(純額)	205,733	188,778
土地	2,420,008	2,420,008
建設仮勘定	119,843	119,843
その他(純額)	4,465	4,020
有形固定資産合計	3,198,327	3,172,547
無形固定資産	116	29
投資その他の資産	210,802	212,982
固定資産合計	3,409,246	3,385,558
資産合計	6,354,967	6,268,764
負債の部		
流動負債		
買掛金	428,292	362,098
短期借入金	786,400	819,021
未払法人税等	59,240	18,181
賞与引当金	48,930	71,335
その他	374,089	354,129
流動負債合計	1,696,954	1,624,765
固定負債		
その他	246,604	251,163
固定負債合計	246,604	251,163
負債合計	1,943,558	1,875,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,962,406	3,943,832
自己株式	△673	△673
株主資本合計	4,373,315	4,354,740
新株予約権	38,093	38,093
純資産合計	4,411,408	4,392,834
負債純資産合計	6,354,967	6,268,764

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,901,129	1,401,391
売上原価	1,482,882	1,057,582
売上総利益	418,246	343,808
販売費及び一般管理費	320,148	301,049
営業利益	98,097	42,759
営業外収益		
受取利息	248	205
受取手数料	4,608	2,322
補助金収入	—	2,296
その他	939	1,170
営業外収益合計	5,797	5,994
営業外費用		
支払利息	1,448	1,189
その他	0	0
営業外費用合計	1,449	1,189
経常利益	102,445	47,564
税金等調整前四半期純利益	102,445	47,564
法人税等	37,331	17,755
四半期純利益	65,114	29,808
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,114	29,808

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	65,114	29,808
四半期包括利益	65,114	29,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,114	29,808
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	102,445	47,564
減価償却費	25,977	27,076
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,727	22,404
受取利息及び受取配当金	△248	△205
支払利息	1,448	1,189
売上債権の増減額(△は増加)	△65,362	28,083
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,231	△31,780
仕入債務の増減額(△は減少)	129,172	△66,194
その他の資産の増減額(△は増加)	△10,019	6,060
その他の負債の増減額(△は減少)	△23,329	△3,045
小計	101,579	31,154
利息及び配当金の受取額	22	22
利息の支払額	△1,398	△1,344
法人税等の支払額	△58,859	△58,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,343	△28,648
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△141,247	—
貸付金の回収による収入	2,682	2,682
差入保証金の差入による支出	△139	△5,279
差入保証金の回収による収入	180	136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,525	△2,460
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△114,094	32,621
長期借入金の返済による支出	△12,501	—
配当金の支払額	△48,382	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,978	△15,761
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△272,160	△46,870
現金及び現金同等物の期首残高	1,975,522	1,400,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,703,362	1,353,766

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大規模や収束時期等の合理的な予測は困難ですが、当社グループは入手できる情報を踏まえて翌連結会計年度にかけて業績は回復していくものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	1,876,009	25,120	1,901,129
セグメント間の内部売上高又は振替高	115	47,224	47,340
計	1,876,125	72,344	1,948,469
セグメント利益	137,856	8,003	145,860

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び鍍金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	137,856
「その他」の区分の利益	8,003
全社費用(注)	△47,762
四半期連結損益計算書の営業利益	98,097

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	1,377,667	23,723	1,401,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	32	31,332	31,364
計	1,377,699	55,056	1,432,756
セグメント利益	84,074	3,155	87,230

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	84,074
「その他」の区分の利益	3,155
全社費用(注)	△44,470
四半期連結損益計算書の営業利益	42,759

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。